

平成19年4月4日  
東北電力株式会社

**東通原子力発電所1号機  
タービン駆動原子炉給水ポンプ吐出逆止弁からの漏えいについて**

東通原子力発電所1号機（平成19年1月7日より第1回定期検査中）において、当社保修担当者および協力会社作業員が給復水系の水張り<sup>1</sup>に伴う漏えい確認を行っていたところ、平成19年4月3日20時53分頃、タービン建屋地下2階にあるタービン駆動原子炉給水ポンプ<sup>2</sup>（A）の吐出逆止弁<sup>3</sup>の蓋の取り付け部から水が漏れ出していることを発見しました。

直ちに当該弁の隔離操作等を行い、21時17分、漏えいが停止したことを確認しております。

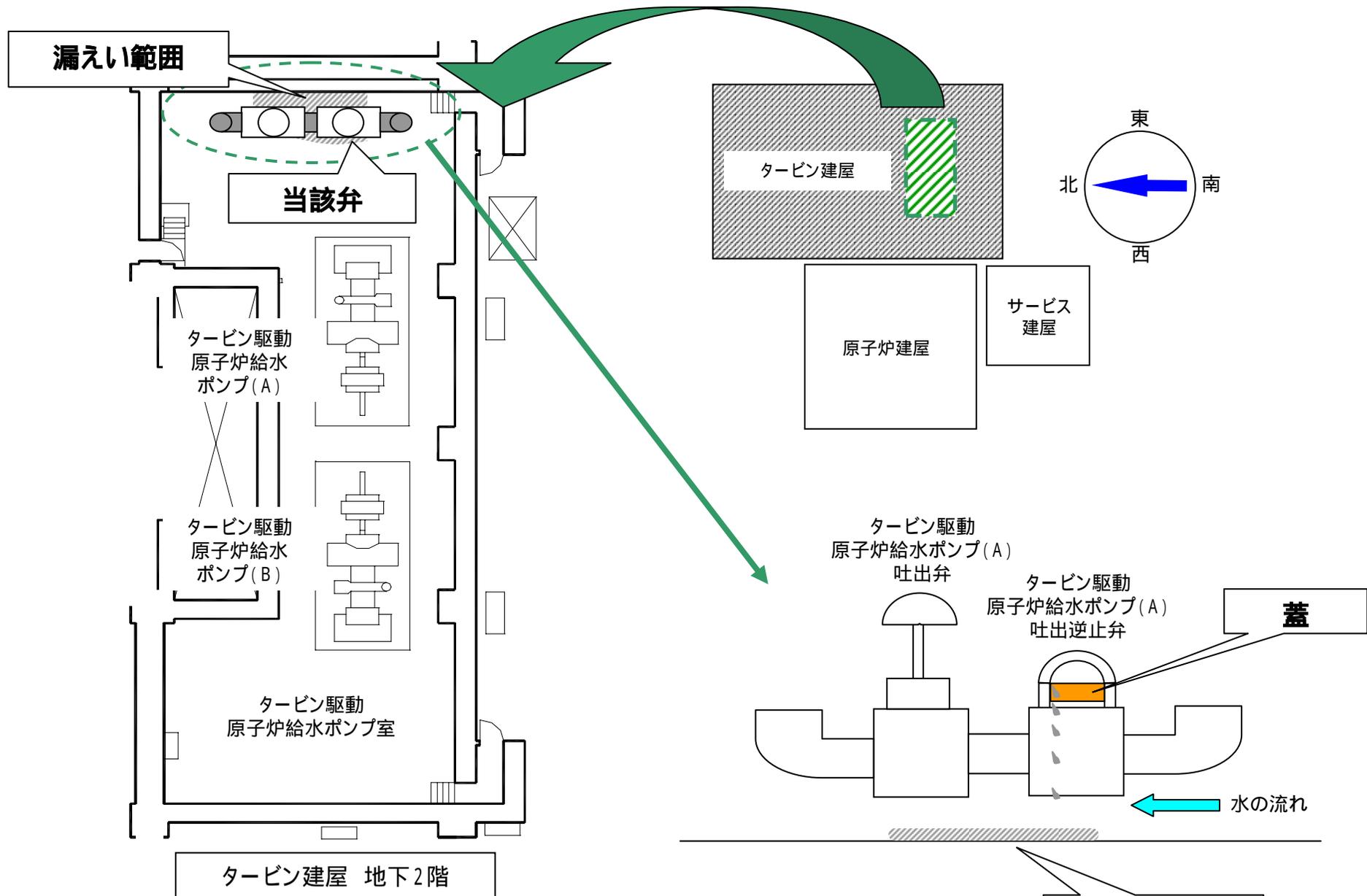
漏れた水の量は約3リットルで、放射性物質は検出されませんでした。排気筒モニタ、排水モニタ、モニタリングポストに異常な変化はなく、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

漏えいの原因は、現在調査中です。

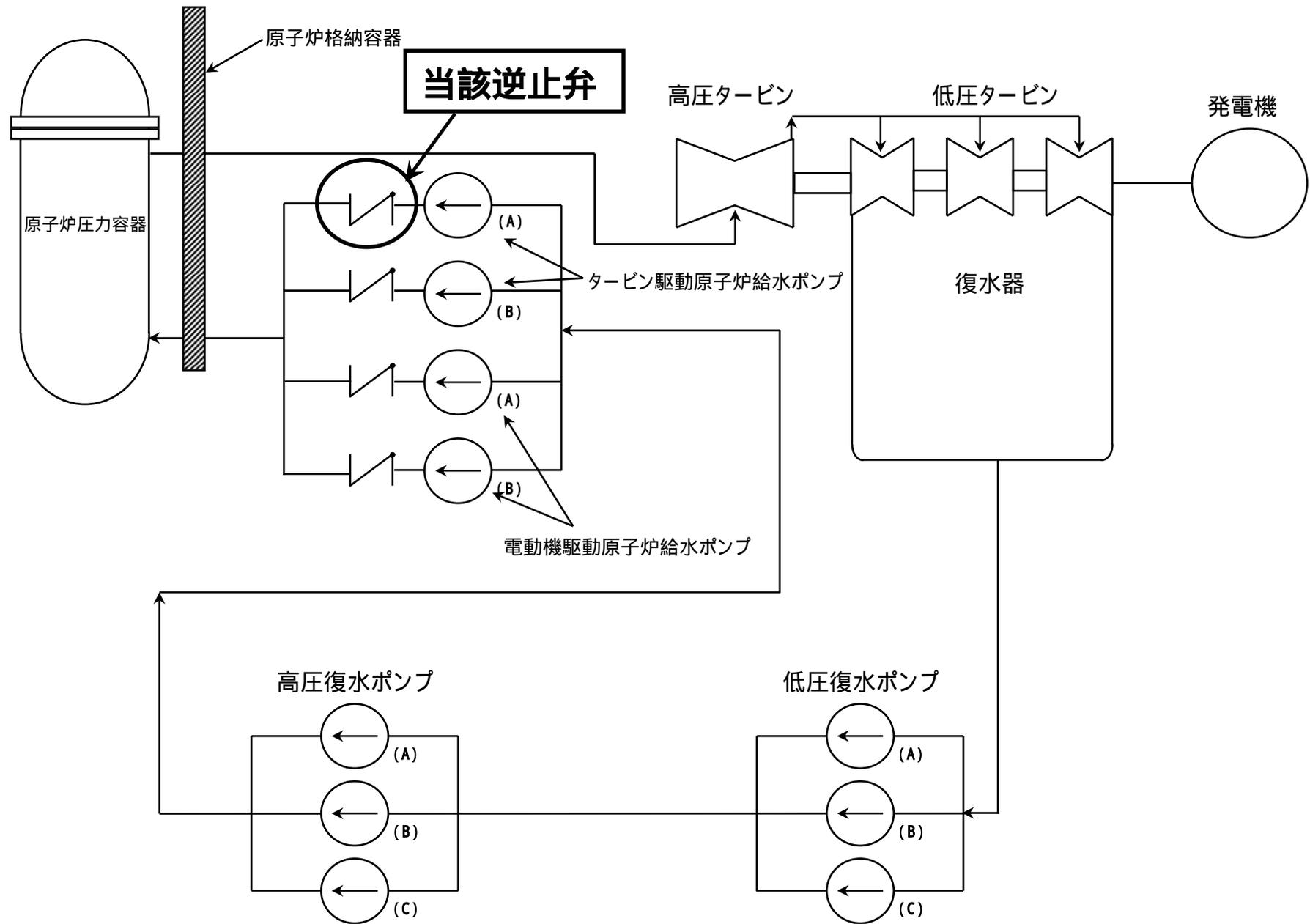
なお、本事象は、「東通原子力発電所におけるトラブル等対応要領」に基づくB情報に該当する事象であり、法律に基づく報告事象ではありません。

以 上

- 1 「水張り」とは、機器（弁・ポンプ等）の分解点検終了後、配管等に水を満たすこと。（当該弁は今回の定期検査において分解点検を実施している。）
- 2 「タービン駆動原子炉給水ポンプ」とは、原子炉に水を供給するポンプであり、原子炉で発生した蒸気で駆動する。
- 3 「吐出逆止弁」とは、配管内の水が逆流することを防止する弁。



発生場所(位置図)



系統概略図